

2024年5月
Press Release #1



グラフィックデザイン：小池俊起

【展覧会概要】

展覧会名：山下麻衣+小林直人 他者に対して、また他者と共に

会期：2024年7月27日（土）～10月6日（日）

開場時間：10:00～18:00（入場は17:30まで）

会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー、広場

出品作家：山下麻衣+小林直人

休館日：月曜日（ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館）、
8月13日（火）、9月17日（火）、9月24日（火）

入場料：一般900円、団体（20名以上）700円

高校生以下／70歳以上、障害者手帳などをお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※学生証、年齢のわかる身分証明書が必要です

●1年間有効フリーパス「年間パス」2,000円

●学生とシニアのための特別割引デー「First Friday」

→学生証をお持ちの方と65歳～69歳の方は、毎月第一金曜日（8月2日、9月6日、10月4日）100円

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

助成：一般財団法人自治総合センター、公益信託「エコーいばらき」環境保全基金、
いばらきコープ環境基金

協力：RO Labo 株式会社、サントリーホールディングス株式会社、
Takuro Someya Contemporary Art、株式会社中川ケミカル、水戸市植物公園

企画：畑井恵（水戸芸術館現代美術センター学芸員）

山下麻衣+小林直人は、映像作品やインスタレーションによって国内外で活躍するアート・ユニットです。

コントロールの効かない不確かな存在としての自然をわからないままに捉え、どうにかして関係性を構築しようとする山下+小林の作品では、些細な日常が価値を持ったり、奇跡的な出来事へと転換したりといった場面に少なからず遭遇します。それは、鑑賞者の視点や価値観をささやかかつダイナミックに揺るがし、ときに世界の見方を変動させる力を持っています。それはまた、自然や動物を含めた「他者」、ひいてはこの世界に対するかれらの切実な関心が結実したものとも言えるでしょう。

本展では、山下+小林による多彩な表現と実践を、最初期の作品や国内未発表作を含め網羅的に紹介し、その全貌を紐解きます。また新作として、当センターの場の特性を活かし屋外広場で会期中に巨大な花壇による参加型作品を展開させます。災害やパンデミックを経て人と自然との不安定な関係が可視化され、また世界的な紛争の続く現在において、本展を通して「他者」との関係性を改めて考え、人々がそれぞれに見ている世界への認識を更新し、個々の存在のあり方を問う機会を創出します。

【作家略歴】

山下麻衣+小林直人

山下麻衣（やました・まい／1976年、千葉県生まれ）、小林直人（こばやし・なおと／1974年、千葉県生まれ）によるユニット。2001年から公式に活動を開始する。東京藝術大学を修了後2012年まで海外で活動し、現在は千葉県を拠点とする。クンストフェライン・ゲッティンゲン（ドイツ、2011年）、小山市車屋美術館（栃木、2015年）、黒部市美術館（富山、2021年）、千葉県立美術館（千葉、2023年）での美術館個展のほか、瀬戸内国際芸術祭2019などの国際芸術祭にも数多く参加している。

<http://www.yamashita-kobayashi.com>



photo: Ryohei Yanagihara

【本展のポイント】

●国内外で活躍するアート・ユニット山下麻衣+小林直人の活動を、最初期から最近作まで網羅的に紹介する大規模個展

本展は、動植物や自然を含めた他者との関わりを通して制作を行うアート・ユニット山下麻衣+小林直人の、映像インスタレーションを中心とした実践を紹介する、過去最大規模の個展となります。最初期から最近作まで、国内未発表作品を含む山下+小林の作品35シリーズ、約120点を網羅的に出品、その全貌を紐解きます。また、本展にあたり考案・制作される新作《人が花に対して、また花と共に行う営み》は、タワーから眺めた景観を考慮し当館広場を全面的に活用する、当館の建築的要素をこれまでにない視点から捉えた新たな試みです。

●当館広場に展開する参加型の新作

本展で発表する新作《人が花に対して、また花と共に行う営み》では、水戸芸術館の広場に巨大な花壇を作ります。大きさは各文字約13メートル四方、太さ1.5メートル、当館タワーから見下ろすと、芝生の中に「大丈夫」という文字が浮かび上がります。本作において作家は、自由に持ち寄った花を芸術館の花壇に植える、という、一風変わった作品との関わり方を鑑賞者に提案します。また会期中には、月ごとに大規模な花植え会を開催し、「大」「丈」「夫」を一文字ずつ花苗で彩っていきます。一文字に必要な花苗は約1,000株。展覧会を訪れた人々が「花を植える」という体験をきっかけに一鑑賞者の枠を超え、能動的に携わることのできる参加型の作品です。

●「花壇クラブ」の結成と継続的な活動

展覧会会期前の制作準備から、花の配色決め、会期中のイベント運営、花の継続的なお世話など、新作の花壇制作にかかわってくださる方を募り、「花壇クラブ」を結成。作家と共にミーティングを重ね、準備を進めています。

疫病や災害、紛争など様々な問題を抱え、世界の情勢が不安定な中、アーティストの制作活動においても政治への意識が高まっています。「政治」の意味として広辞苑には「他者に対して、また他者と共に行う営み」とあり、これまで他生物や自然と関わり制作してきた山下+小林は「他者」を「花」に読み替え、新作のタイトルとしています。作家は花壇作りを小さな政治と捉え、地域の人々との協働を通し、「大丈夫」を育てていきます。

*活動の様子は展覧会WEBサイトで紹介しています。

【新作《人が花に対して、また花と共に行う営み》関連イベント】

会場：広場
参加費：無料
事前申込み不要。どなたでもご参加頂けます。

オープニング・アーティストトーク
日時：7月27日（土）16:30～17:00
本展出品作家の山下麻衣+小林直人が、新作について作品の前でお話しします。

「大」の花植え会
日時：7月27日（土）、28日（日）各日 17:00～18:00

「丈」の花植え会
日時：8月17日（土）18日（日）各日 17:00～18:00

「夫」の花植え会
日時：9月7日（土）、8日（日）各日 17:00～18:00
花苗をご用意しています。シャベルと軍手のご持参推奨。小雨決行、荒天の場合は延期。
上記イベント以外にも、本展会期中に花苗をお持ちいただければ花壇に植えることができます。

花の譲渡会
展覧会閉幕に合わせ花壇の花を自由に持ち帰れる譲渡会を行います。
日時：10月5日（土）、10月6日（日）各日 10:00～14:00
持ち物：花を持ち帰るための容器や袋、シャベル、軍手



イメージスケッチ

【関連プログラム】

- ・特に記載がない限り参加費無料、どなたでもご参加いただけます。ただし、展覧会入場券が必要です。
※無料でご入場いただける方についてはチケット情報をご確認ください。
- ・申込方法等詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

■ アーティストによるギャラリーツアー

日時：7月28日（日）、8月18日（日）、9月8日（日）各日 14:30～16:00
会場：現代美術ギャラリー
定員：各回 20名（要申込／先着順）

■ 赤ちゃんと一緒に美術館散歩

日時：9月1日（日）、9月4日（水）各日 10:30～12:00
会場：現代美術ギャラリー
対象：未就学児とその保護者
定員：各回 5組（要申込／先着順）
参加費：保護者のみ 1,500円（2人目からは一般料金）
※展覧会入場料を含みます。



■ ウィークエンド・ギャラリートーク

市民ボランティア CAC ギャラリートーカーと対話しながら展覧会を鑑賞します。（申込不要）
日時：8月10日（土）より毎週土曜日 14:30～（40分程度）
会場：現代美術ギャラリー

【図 版】 展覧会広報用にデータを貸し出しますので、ご要望の方は鳥居までお問合せください。

1



2



3



4



5



6



1. 《人が花に対して、また花と共に行う営み》のためのイメージスケッチ、2024年
2. 《Candy》2005年
3. 《A Spoon Made From The Land》2009年（ヨコハマトリエンナーレ2011での展示風景） 撮影：岡野圭
4. 《infinity》2006年
5. 《やりなおし～ALIENとしての》2001年
6. 《積み石》2018年

7



8



9



10



7. 《世界はどうしてこんなに美しいんだ》2019年（瀬戸内国際芸術祭2019での展示風景）
8. 《infinity~mirage》2021/2023年～
9. 《Present (for Giraffe)》2004年
10. 《NC_045512》2023年（千葉県立美術館での展示風景） 撮影：木暮伸也

プレス向け内覧会のお知らせ

2024年7月26日（金） 14:00～15:30 受付開始 13:30

場所：水戸芸術館現代美術ギャラリー

出席者：山下麻衣 + 小林直人

畑井恵（水戸芸術館現代美術センター学芸員）

【お問合せ】

水戸芸術館現代美術センター

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120/Fax.029-227-8130 <https://www.arttowermito.or.jp/>

展覧会について：畑井恵（学芸員）

教育プログラムについて：森山純子、中川佳洋（教育プログラムコーディネーター）

広報・写真貸出について：鳥居加織（広報） e-mail:cacpr@arttowermito.or.jp

*詳細は公式X http://twitter.com/MITOGEL_Gallery でも配信いたします。

【記事掲載についてのお願い】

- 1) 掲載にあたっては、正式展覧会名称と会期の表記をおこなってください。
- 2) 写真を掲載する場合は、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- 3) 誌面掲載する電話番号は、水戸芸術館代表番号029-227-8111でお願いいたします。
- 4) 掲載記事とVTRは、資料として保管いたしますので水戸芸術館現代美術センター鳥居までご送付ください。
- 5) 取材及び収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。都合により取材に応じることのできない場合がございます。

【交通のご案内】

[JR] 東京駅（品川、上野発もあり）から常磐線特急で約72分～84分、水戸駅下車。
北口バスターミナル4～7番のりばから「泉町1丁目」下車。徒歩2分。

[高速バス] 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから高速バス「みと号」水戸駅行き
（赤塚又は茨大ルート）で約100分、「泉町1丁目」下車、徒歩2分。

[お車] 常磐自動車道水戸ICから国道50号線を水戸市街地方面へ約20分。
◎市営五軒町駐車場があります。
地下駐車場（217台）7:00～23:00
立体駐車場（283台）24時間
料金：30分まで無料、1時間まで200円、以降30分ごとに100円 1日上限700円

【お知らせ】

今後のプレスリリースの発行を郵送からメルマガ配信へと移行します。配信への移行を希望される方はメールアドレス・ご所属・ご氏名を cacpr@arttowermito.or.jp までご連絡いただくか、QRコードを読み込みの上、お申込みください。

